



こどもクリニックニュース

NO. 245 令和2年6月1日発行
ともながこどもクリニック

院長の予定 (2020年7月まで)

6月	10日	(水)	内科健診	水深幼稚園 AM
			2才健診	加須・保健センター
	12日	(金)	3才健診	加須・保健センター
7月	17日	(水)	内科健診	第4保育所 AM
	1日	(水)	内科健診	にしき保育所 AM
	2日	(木)	1才半健診	加須・保健センター
	8日	(水)	内科健診	水深小 AM/PM
	20日	(月)	3才健診	加須・保健センター
	27日	(月)	3才健診	騎西・保健センター

これらの日は午前の受付を12:00前に締め切ることがあります。また午後の診療開始時間が多少遅れることがあります。

※新型コロナウイルス感染の流行状況により、日程の変更があるかもしれません。

小児科休日診療の当番

令和2年10月までの当番一覧です。加須市では、11月～3月は元日を除くすべての日曜・祝日に、4月～10月は祝日に小児科休日診療を行っています。

月	日	曜日	当番医
7月	23日	(木)	福島小児科医院
	24日	(金)	ともながこどもC
8月	10日	(月)	つのだ小児科医院
9月	21日	(月)	ともながこどもC
	22日	(火)	加藤こどもC

※診療(受付)時間は9:00～12:00です。

当番は変わることがありますので、ご利用の際は加須市の広報誌やホームページで最新情報をご確認ください。

休診の予定

8月23日(日)～30日(日)まで、休診の予定です。

お盆期間は、臨時の休診はありません。



感染症の情報

埼玉県全体で、すべての感染症が激減しています。その理由は、多くの方が「新型コロナウイルス感染症」への対応をしっかり心がけているためだと思います。

手洗いはすべての感染症の予防に有効です。またカゼ症状のある方はマスクや咳エチケットを心がけてください。

熱中症に注意!!!

初夏のように暑い日も増えてきました。こんな時期は小さなお子様の体温の管理に注意が必要です。とりわけ赤ちゃんは自分で服装の調節ができません。つい着せ過ぎていると、いつの間にか体温が上がる(熱が出る)ことがあります。あせも等のお肌のトラブルも増えてきます。

気温の変化とお子様の服装に注意してください。

今シーズンの特徴は

- ① 5月に比較的涼しい日が続いたこと。
- ② コロナ対策で、激しい運動や屋外での活動が少なかったこと。

そのため体が暑さに慣れていない方が多く、熱中症になるリスクが高いことです。少しずつ暑さに慣れてください。

※マスクの着用について

マスクを着けていると、吸い込む空気の温度が上がり、熱中症になるリスクが高まる可能性が指摘されています。屋外で、他の人との間隔が十分離れていれば、マスクは不要だと思います。

また1～2歳までの赤ちゃんは、マスクで呼吸困難になったり、突然の嘔吐の時に窒息する危険性も危惧されています。小さなお子様は(理由は分かっていませんが)新型コロナウイルスに感染しにくいことが分かってきましたので、マスクは不要と考えられます。

新型コロナウイルス関連

この2ヶ月くらいで体重がグンと増えた子が多いと実感しています。自粛中の運動不足が原因でしょう。それから精神的なストレスが疑われるお子様も見かけます。

厳しい自粛生活の結果、そろそろ第一波の収束が近づいてきました。ただし、完全にウイルスが消滅したわけではないし、国内・国外の状況を見れば、油断したらいつでも第二波、第三波が襲ってくるのは明らかです。

特効薬はまだ見つかっていないし、ワクチンの開発もかなりの時間がかかりそうですので、当分の間は感染予防と日常生活のバランスを考えながら「付き合っていく」ことになりそうですね。

明るい光と言えば、ウイルスの性質や感染後の経過が少しずつ分かってきたことと、抗原検査や抗体検査が開発されて、早期診断や流行の実態に迫ることが出てきたことです。引き続き「正しく恐れながら・・・」ストレスの少ない生活を送りたいものです。

新型コロナウイルスに関連した相談窓口は

埼玉県新型コロナウイルス感染症サポートセンター

電話番号：0570-783-770 へ

もしくはお住まいの地域の保健所

加須保健所 0480-61-1216

(加須市、羽生市、行田市)

幸手保健所 0480-42-1101

(久喜市、幸手市、白岡市、蓮田市、宮代町、杉戸町)

当院のホームページ

<http://tomonaga-kodomoc.jp>



ともなが
こどもクリニック

加須市下高柳 1633-1

TEL 0480-66-4150

<予防接種は自粛しないで!!>

全国的にお子様のワクチン接種率が低下してきており、日本小児科学会が警鐘を鳴らしています。当院でも一時、新型コロナ感染が心配で、予防接種を延期すべきかどうかの相談が増えていました。でも答えは一つ・・・。

標準接種の時期が来たら早めに開始しましょう！

ワクチンで予防できる病気は、コロナよりもずっと重い病気です。その中でもとりわけ、0歳～1歳で接種するワクチンは極めて重要ですので、迷わず早めに開始しましょう。多くの小児科医院では予防接種専用の時間帯を設定し、一般の患者さんと接触しないように配慮しています。当院も同様の時間帯を設定していますし、通常診療の時間帯でも、ご希望があれば一般の待合室とは別の小部屋を用意できます。電話などでご相談ください。

なお予防接種に来院される時は、できるだけ少人数(接種者本人とお母様だけ等)でのご来院をお願いします。

夜間や休日の急病対策/電話相談

#7119・・・# 7 (何でも) 119 番！

北川辺地域では 048-824-4199 へ

小児の救急電話相談 (#8000)、成人の救急電話相談 (#7000)、そして埼玉県救急医療情報案内を一つにまとめた相談ダイヤルです。

これさえ覚えておけば、こどもから大人まで、全ての方の医療相談や医療機関の案内まで対応してくれますので便利です。

こどもの救急 (日本小児科学会)

診療時間外に医療機関を受診したほうが良いかどうかの判断の目安をホームページで提供しています。

<http://kodomoc.jp/>

